

国際感染症学院 感染症学専攻 アセスメント・チェックリスト

国際感染症学院感染症学専攻の学位授与水準(DP)

DP1: 感染症学および関連領域における学術基盤と幅広い視野を有している。

DP2: 感染症学および関連領域における高度な専門的知識、技術を有し、それらを研究等に実践応用できる。

DP3: 問題の全体像を俯瞰できる能力および困難な問題の解決を可能とする洞察力と柔軟な発想力を有している。

DP4: One Healthの実現のために国際舞台でリーダーシップを発揮できる。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容, 質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	7月, 1月	毎年	(博士)1~4年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し, 教員に教育方法改善の指針を与える。	国際感染症学院
2	成績評価	4月, 9月	毎年	(博士)1~4年生	・成績の点検	履修指導時に点検する	国際感染症学院学生指導関係教員	成績をもとに履修指導を行う。	国際感染症学院
3	大学院生調査	随時	1年に1回	(博士)1~4年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革参考とする。	総合IR室
4	修了時調査	2~3月	毎年	(博士)4年生	・カリキュラム, 研究指導の満足度等	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	国際感染症学院
5	修了生調査	9月	毎年	修了後5,10,15年目の修了生	・大学院教育の有用性と現在の状況	質問紙	修了生	教職員に開示してカリキュラム改革の参考とする。	国際感染症学院
6	企業等調査 (就職先調査)	1~3月	3年に1回	修了生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価に基づき, カリキュラム改革を検討する。	総合IR室
7	DPIによるカリキュラム点検	随時	4年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング, カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	国際感染症学院学生指導関係教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	国際感染症学院